

# 世界を自分に



# 取り戻す

第6回

シューレ大学研究イベント

シューレ大学当事者研究イベントは今回で6回目を迎えました。シューレ大学では当事者研究とも言える形で「自分から始まる研究」として今の自分にのっぴきならないことや、知りたい・深めたいと思うことからテーマを設定しそれぞれに探求を積み重ねてきました。どの研究にも共通するのは、自分の生き難さを解体し、より自分の求める生き方を感じ捉え続けやすくするための研究です。例えば、以下のようなテーマに取り組んでいます。

## ◆発表内容(予定)

- 私はなぜ、どのように自分の存在価値を他者からの評価に託そうとするのか。
- 私の無気力感はどこからくるのか。
- わたしはどのような健康観を吸収してきたのか。
- 私の不登校研究はなぜ停滞するのか。
- 職場における年上の男性への恐怖心はどこからきたのか。
- 私は陰口とどのように付き合っていきたいのか。

どの研究もおのずと自分の感じていることだけでなく、その自分がどのような社会で影響を受けて生きているのかを視野に入れて捉えなおすことで、より考察を深めているように思えます。この私たちの発表で、変えることのできないような閉塞感に穴を穿つ方法の提案になることを期待しています。

## ◆ゲストスピーカー 最首悟



さいしゆ・さとる…1936年生まれ。東京大学助手時代から全共闘運動や水俣病問題に積極的に取り組む。また、愛娘・星子が障害を持って生まれて来たことから、障害者問題へも深く関わってきた。和光大学名誉教授。著書に『星子が居る』

(世織書房)、『「痞」という病からの一水俣誌々・パート2』(どうぶつ社)ほか。

## シューレ大学

1999年にフリースクール東京シューレを母体に若者とスタッフで設立した。知る・表現するということ自分のスタイルを進めることで、自分とは何者かを問い、自分の生き方を創り出すということを模索する場となっている。現在、学生30人、スタッフ4人に、原一男を始め、平田オリザ、最首悟、上野千鶴子ら様々な分野のアドバイザーが約50人いる。

- 当事者研究がまとめられた冊子(シューレ大学紀要)は参加費に含まれています。受付でお受け取りください。
- イベント終了後、交流パーティーがあります。(参加費別途)

### 【事前予約】

事前予約を電話、FAX、E-mailにてお受けします。「お名前」「参加人数」「電話番号」をお知らせください。なお、ご予約いただかなくても参加は可能ですが、会場が満席になった場合は参加をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

連絡先：シューレ大学 (NPO 法人東京シューレ)

〒162-0056 東京都新宿区若松町 28-27

TEL 03-5155-9801 (平日 10時～19時、水曜日のみ 13時～19時)

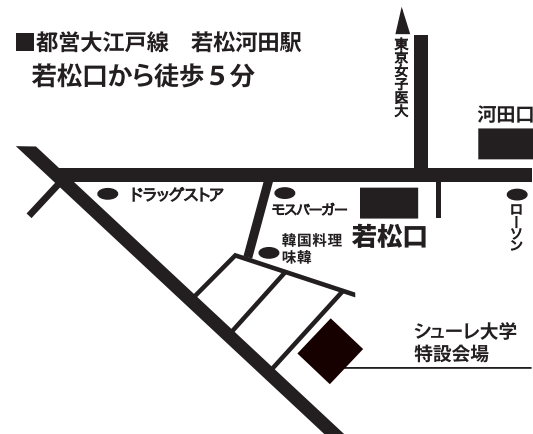
FAX 03-5155-9802

E-mail: [univ@shure.or.jp](mailto:univ@shure.or.jp) URL: <http://shureuniv.org/>

twitter: @shureuniv

Facebook: [www.facebook.com/shureuniv](http://www.facebook.com/shureuniv)

### 会場 シューレ大学特設会場



住所: 東京都新宿区若松町28-27